

50周年記念式典

1. 記念式典



校長式辞



理事長挨拶



大使祝辞



P T A 祝辞



功労者紹介



記念バティック



フラワーボード

記念式典は、中学部体育館で行いました。大使ご夫妻をはじめ、J J Sに関わりのある多数のご来賓の皆様にご臨席賜りました。

学校功労者紹介では、魚住竜吉ご家族様に舞台上上がっていただきました。J J Sは、魚住様の工場を借り受けて1969年に開校しました。花束を贈呈し、感謝の気持ちを伝えました。

式典の様子は、同時中継され、小学部体育館のパブリックビューイングでも観ていただきました。

児童生徒は、この日に合わせて作成した記念バティックを着用しました。



式典に続いて、J J S フェスティバル「オープニング」が児童生徒実行委員の司会で始まりました。

ご来賓の皆様も見守る中、児童生徒による和太鼓が打ち鳴らされました。「未来へのバトンタッチ」というテーマでラップが披露され、50周年を祝いました。行事マスコットも曲に合わせて踊り、盛り上げました。「みんなで作り、みんなで祝う」というコンセプトのもと、全校一丸となった記念行事がスタートしました。

50周年記念 J J S フェスティバル

2. 小学部・中学部交流（Jフェス）



小学部5年から中学部3年までの各ブースでは、50周年にちなんだ工夫が盛りだくさんでした。また、保護者や教職員等の企画ブースでは、現地理解が深まる体験型の内容もあり、みんなが楽しめるものでした。小学部1年から4年は、縦割り班で回りました。今年は記念スタンプラリーを行い、カードにたくさんのスタンプをもらっていました。

3. 有志発表・フィナーレ



有志発表・フィナーレは、全校児童生徒が中学部体育館に集いました。有志発表では、オーディションに合格した7つのグループが発表しました。小学部体育館でのパブリックビューイングでは、迫力の映像でした。発表が終わるごとに大きな拍手が起きていました。

フィナーレでは、特別ゲストJKT48と児童生徒がコラボをしました。50周年という記念すべき年に行われたJ J Sフェスティバルは、今までにない盛り上がりを見せました。忘れられない一日として心に残ることでしょう。